



新制作・世界初演

バレエ「飛鳥」によせて(一部) 作・網谷幸二

ASUKA

牧阿佐美バレエ団創立60周年記念公演シリーズⅦ

8月27日(18:00)・28日(14:00)
新国立劇場オペラパレス

ASAMI MAKI BALLET TOKYO 牧阿佐美バレエ団

8月27日(18:00)・28日(14:00)

新国立劇場オペラパレス

チケット料金 (全席指定・税込)
〈S席〉14,000円 〈A席〉12,000円 〈B席〉8,000円
〈C席〉6,000円 〈D席〉3,000円

チケット発売
●楽天チケット、チケットぴあ先行発売/5月27日(金)10:00am~
●一般発売/6月7日(火)10:00am~
●牧阿佐美バレエ団 オフィシャルチケット
https://ambt.tstar.jp/cart/events/7319
●楽天チケット http://ticket.rakuten.co.jp/features/maki
●チケットぴあ http://t.pia.jp/ ☎0570-02-9999(PCODE:451-615)

チケット
取扱



牧阿佐美バレエ団
オフィシャルチケット



楽天チケット

新国立劇場地図 <http://www.nntt.jac.go.jp>

〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号
●交通アクセス…京王新線(都営新宿線乗入)「初台駅」中央口直結

※未就学児のご入場はご遠慮ください。お子様も一人一枚チケットをお求めください。
※座席により舞台の端が見えにくい場合がございます。また、やむを得ない事情により
出演者等に変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。
※公演中止を除き、チケットの変更および払い戻しはいたしません。

お問い合わせ先
牧阿佐美バレエ団公演事務局 ☎03-3360-8251 10:00~18:00(土日祝休) www.ambt.jp

- 主催** 一般財団法人牧阿佐美バレエ団
- 特別協賛** クレアシオン・キャピタル株式会社
- 協賛** 株式会社アサツー ディ・ケイ 株式会社アストル エアアジア・ジャパン株式会社
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社 株式会社ガールズアワード 桑名英一郎・由美
株式会社サイバーエージェント 湘南美容外科 株式会社GCIアセット・マネジメント ソニー株式会社
ソニー生命保険株式会社 株式会社ダイヤモンドダイニング 株式会社テイクアンドグヴ・ニーズ
株式会社ネクシィーズグループ ネスレ日本株式会社 ハクビ京都きもの学院
株式会社ヒラノ・アソシエイツ 株式会社ベネフィット・ワン 三木谷浩史・晴子 宗像理紀
株式会社ヤマノビューティメイトグループ UBS銀行 楽天チケット 楽天トラベル
- 協力** アチーブメント株式会社 公益財団法人新国立劇場運営財団 株式会社そごう・西武
一般財団法人100万人のクラシックライブ
- 後援** 洗足学園音楽大学 一般社団法人日本バレエ団連盟 BS朝日 ビルボードジャパン
- 特別協力** 楽天株式会社

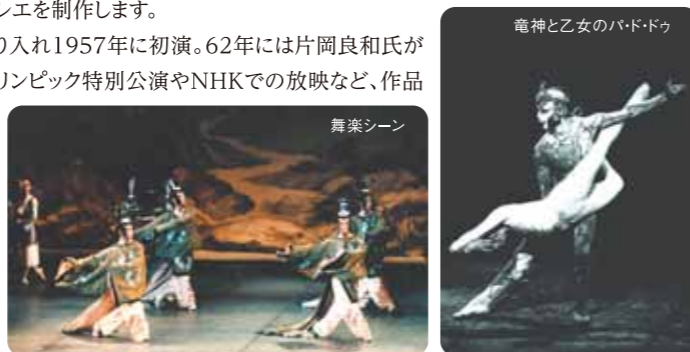




古代、国際色あふれる豊かな文化が花開いた奈良。
いにしへの都を舞台に繰り広げられる、竜神に愛された乙女のお話。
日本の伝統文化の美とバレエ芸術が融合し、世界の人々の心に響く
壮大なバレエファンタジーがここに誕生します。

日本から世界に発信する新作バレエ

牧阿佐美バレエ団創立60周年を迎える今年、牧阿佐美が新たな全幕バレエを制作します。
橋秋子の代表作「飛鳥物語」は音楽に雅楽、舞踊に舞楽の優雅さを取り入れ1957年に初演。62年には片岡良和氏が音楽を作曲、この作品でバレエ団は芸術祭文部大臣奨励賞、64年東京オリンピック特別公演やNHKでの放映など、作品の芸術性と創造性が高い評価を獲得しました。その後、牧阿佐美の演出振付による最後の上演となっていた86年から今年、30年振りに、新たに制作する注目の舞台です。これまでに数々の全幕バレエを制作してきた牧阿佐美は今回、人生最後の集大成として、世界に通用する日本のバレエ作品を生み出すことを目指して制作に着手。物語は古代の日本、大陸との交流盛んな時代として描かれる飛鳥を舞台に、芸術を象徴する竜と人間のドラマが繰り広げられます。



「飛鳥物語」1986年公演より

最新の映像演出が創り上げる、バレエの新しい世界



プロジェクションマッピング by ZERO-TEN

本作品の美術には、日本を代表する洋画家、絹谷幸二氏が本作の為に作品「飛鳥に寄せて」を制作しました。これを基にした映像演出によって創り上げる舞台空間は、ファンタジーの世界に繋がる壮大ないにしへの都。日本が誇るオペラ・バレエの劇場、新国立劇場の充実した舞台空間で、古来の日本の美と最新のメディアアートが融合する新しいバレエの世界が誕生します。

ZERO-TEN (映像演出)

「MAKE NO BORDER」をコンセプトに、企画から制作までトータルに手がけるクリエイティブ集団。プロジェクションマッピング・舞台演出やイベント企画、Web・グラフィック・CM制作、イルミネーションを使った空間演出、ハード機器の設計からソフト制作など、多岐にわたる制作プロデュースを行っている。
<http://zeroten.jp/>

主演：ルンキナ&スクヴォルツォフ、菊地研

美しい舞女には、世界的バレリーナとして人気を誇るスヴェトラナ・ルンキナ、パートナーにはポリショイバレエのプリンシパル、ルスラン・スクヴォルツォフが登場します。古代日本が舞台のファンタジー作品は、これまでにない新しい挑戦として注目の舞台となるでしょう。そして、物語の核となる孤高の存在、竜神には牧阿佐美バレエ団のプリンシパルとして存在感を増す菊地研。芸術の神として描かれる竜の化身を通して伝えるもの。牧阿佐美が繰り広げる大いなる創造の世界は、時代を超えて、国を超えて、人々の心に響く壮大なファンタジーとなるでしょう。

あらすじ いにしへの都、大陸との交流盛んな国際都市・飛鳥。美(芸術)と権威の象徴である竜神を祀るお宮に仕える舞女たちの中で、春日野すがるをとめは一番の舞の手で大変美しい乙女でした。すがるをとめは竜神へ舞を奉納する榮譽を与えられますがそれは即ち、竜神の妃となり、二度と再び地上に戻ることは出来ないということ。すがるをとめは終生を芸術の神に仕えようと心に決めるのでした。一方、幼なじみの岩足は、美しく成長したすがるをとめの舞を見て思いを抑えられず、こぼしの花を差し出し愛の心を伝えますが、すがるをとめの決意は変わらず、竜神と共に昇天してゆきました。しかし竜の棲む深山に咲くこぼしの花を見つけると不意に、岩足への激しい慕情にかき立てられます……。

牧阿佐美バレエ団と「飛鳥」を踊る機会をいただいて大変光栄に存じます。橋秋子先生がお書きになった、いにしへの乙女と若者の悲恋の物語を読んで深い感銘を受けました。日頃から日本の文化に敬意を抱いている私にとりまして、「飛鳥」への出演は大きな意味があるものと考えております。また作品をご覧になる皆様にも、必ずや感動していただけるものと確信しております。皆様と再会できる日を心から楽しみにしております。

スヴェトラナ・ルンキナ



春日野すがるをとめ



岩足



竜神

この記念すべき公演で、物語のキーパーソンとして舞台に立てることを嬉しく思います。人間ではない役柄を演じることに戸惑いながらも、新たな挑戦に向かっています。「飛鳥」の壮大な世界観を今の時代にどう表現できるか、皆様に素晴らしい舞台をお届けできるようバレエ団一同、力を結集してリハーサルに取り組んでいます。牧阿佐美バレエ団の新しい歴史を刻む新作舞台の誕生をぜひご覧ください。

菊地 研

スヴェトラナ・ルンキナ ルスラン・スクヴォルツォフ 菊地 研
(カナダ国立バレエ団 プリンシパル) (ポリショイバレエ団 プリンシパル) (牧阿佐美バレエ団 プリンシパル)

指揮 デヴィッド・ガルフォース **演奏** 東京フィルハーモニー交響楽団

改訂演出・振付 牧阿佐美 (「飛鳥物語」1957年初演台本・原振付：橋秋子) **音楽** 片岡良和
美術 絹谷幸二 **映像演出** ZERO-TEN **照明プラン** 沢田祐二 **総監督** 三谷恭三



洋画家
絹谷 幸二 (きぬたに こうじ)

奈良市生まれ。東京藝術大学絵画科油画卒業、同大学院を修了後のイタリア留学で古典技法アフレスコを習得。その技法を独自のものとしながら、画家自身にたぎるエネルギーを表出したかのような奔放かつ鮮烈な絵画表現。人物画でスタートしたその画業は、ヴェネツィア風景、富嶽などの多様な展開を見せながら、近年は古事記をはじめ日本の神話、信仰を背景とするドメスティックな精神世界を追求するなど、さらなる円熟の境地に達している。1997年、長野冬季五輪の公式ポスターを手掛ける。文化功労者、日本芸術院会員、独立美術協会会員、東京藝術大学名誉教授、大阪芸術大学教授。



振付家
牧阿佐美 (まき あさみ)

日本バレエ界の草分けの一人、橋秋子の長女。4歳で初舞台、15歳でデビュー公演、米留学で世界的バレリーナ、アレクサンドラ・ダニロワ、イゴール・シュベツォフ、マリア・スワボダー、ピエール・ウラジミロフ、フェリナ・ドゥプロフスカ等に学んだ。古典から創作まで多くの作品に主演。振付家として「ブガク」(黛敏郎・曲)、「トリプティック」(芥川也寸志・曲)をはじめとする創作や全幕作品を手掛け、指導者としても日本を代表する多くのダンサーを育成している。文化功労者、新国立劇場舞踊芸術監督(1999年~2010年)、現在、新国立劇場バレエ研修所所長。



作曲家
片岡良和 (かたおか よしかず)

大谷大学、国立音楽大学作曲科卒業。1973年、宮城フィルハーモニー管弦楽団(現仙台フィルハーモニー管弦楽団)を創設する。主な作品に、合唱曲「冬の手紙」(芸術祭文部大臣賞)、管弦楽曲「抜頭によるコンポジション」(東京放送賞)、「迦陀」、バレエ音楽「飛鳥物語」(芸術祭奨励賞)、宮沢賢治の童話によるカンタータ「鹿踊りのはじまり」(芸術祭優秀賞)、交響曲「黒潮」、マリンバ協奏曲、オペラ「妖かしの森=山姥譚」など。仙台市特別市政功労者、文部科学大臣地方文化功労者、仙台フィルハーモニー管弦楽団副理事長。見瑞寺十三世住職。

主な出演者



東京フィルハーモニー交響楽団 © 上野隆文